

SOPHIA  
series - 2



ウィルソンサウンドとはサウンドステージの広がりや奥行きの中にヴォーカルや楽器がそれぞれの位置に定位し三次元的なホログラムが眼前に浮かぶような演奏風景を聴き手の目の前に再現するサウンドです。ヴォーカルは一貫性を持ってリアルに聴き手の前に現れること。何もない深い漆黒の背景からダイナミクスとハイスピードで炸裂するパーカッション。静かさと炸裂音のダイナミックコントラストが階調豊かに表現されます。豊富な低音と中域、素直な高域によって演奏環境の再現を行うことが最も得意なスピーカーであると評価を受け、世界中のオーディオファイル、オーディオメーカー、高品質録音エンジニアはこぞってウィルソンオーディオを称賛し、ウィルソンオーディオスピーカーを使用しているのです。

ディビッド・ウィルソンは、1978年創業以来、彼の理想を追求するユニークで高品位なスピーカーを発表して参りました。モジュール構成により完璧な位相整合と広い周波数レンジを高次元で達成したX-2アレキサンドリアを筆頭に、ウィルソンスピーカーに息づくコンセプトは「演奏情景を見通す能力のあるスピーカー」とD.ウィルソンは断言します。これは、彼の言葉で「スピーカーの透明感」と表現されます。「音楽が見えたとすれば、それを見る窓はあくまで透明さを保ち、音楽の向こうにある情景をはっきりと見通せなければならない」ウィルソンオーディオのスピーカーではサウンドステージは聴き手の前にクリアーに現れ、演奏情景を思い描くことができるのです。

フラッグシップスピーカー「アレキサンドリアX2」「MAXX-2」の開発過程で得た経験と知識を糧にソフィア-2は誕生しました。ギリシャ語で「知識力の開花」という意味を持つネーミングにもウィルソンの意気込みと自信が伝わってきます。

スピーカーシステムの設計に当たってはドライバーユニットの選択はとて大切なことですが、それをサポートするエンクロージャやネットワークも音質を決定する大切な要素です。クロスオーバーとドライバーとが一体となり、再生する音に何も付け加えず、何も失わずに再生する、それでこそ音楽を見る透明な窓ができるのです。市場で入手できる合板、MDF、アルミニウムなどのキャビネット材料ではウィルソンの理想を表現することはできませんでした。ウィルソンオーディオの拠点はユタ州プロボ市。同市内に在る4万人の学生が学ぶブリガムヤング大学の音楽、化学、物理学などの教授陣との共同作業により、ウィルソンオーディオは理想的な質量、ダンピング特性、硬度とコンプライアンスを兼ね備えた新素材、X材とM材とを開発しました。非共振性に加え、ドライバーの長所を最大限に発揮できるスピーカーエンクロージャの材料としてこの2種類の新素材を採用することによって、D.ウィルソンが求めるパフォーマンスを追求するソフィア シリーズ2は完成を見たのです。

新たに開発したアスフェリカルグループディレイ・クロスオーバーを搭載し、より高次元で位相整合と広いダイナミックレンジが得られました。ダイナミックレンジを広くするためにはネットワークの使用部品を最小限に抑える必要があります。多くの部品を使用してネットワークを凝った造りで自慢するにはダイナミックコントラストの犠牲が多すぎるのです。この特殊ネットワークは、少ない数でシャープなコントラストと解像力を手にする非球面レンズ技術がアイデアとなっており、アスフェリカルグループディレイと呼ばれます。このネットワークによって音の新鮮さを保ち、ダイナミックシェーディングという階調表現がますます高まります。

また、ダイナミックレンジを広く取るにはノイズフロアレベルを下げることで、そのための手段はネットワークに加えて、キャビネット材も大変重要です。X-2やMAXXで革新的な素材を開発しました。ソフィア シリーズ2には、ウィルソンの独特な技術が駆使されています。

■1. アンチジッター：ドライバー間の相互干渉を低減させ、ノイズフロアレベルを下げることで、音楽は漆黒の背景から立ち上がります。わずかな光もバックグラウンドが黒ければ黒い程ははっきりと認識されるように、音楽も細やかに美しく再現されます。

■2. ベースアライメント：ウィルソンオーディオでも群を抜くスピード感のある、奥深く精度の高い低域再生。反応が速く俊敏な低域を得るために、ドライバーユニットの厳しい試験によって選抜されたクリアーで高速の立ち上がりとブレーキングの速いロングストロークアルミコーンウーファーを採用しました。さらに、音と音の間の静寂さが深まって、音の粒立ちを豊かな階調でくっきりと、且つダイナミックに人間の感性に訴える音楽を表現するスピーカーが誕生するのです。

■3. アンチディフラクション：ツイーターのバックウェーブ回折効果を時間・周波数帯域を軸にゼロに近づけ、三次元的な再現性をさらに高めました。選別したツイーターにウィルソン独自の加工を加え、ドライバー内部の乱気流を防ぐ特殊構造です。

大切なエンクロージャの仕上げはウィルソングロスカラー仕上げによります。下地2層、カラー2層、クリアコート7層という入念な工程を経て、美しさと品格を兼ね備えた理想のキャビネットとなりました。

もちろん、サウンドステージを正確に再現するため、使用ドライバーユニットのマッチングも厳しく行っています。周波数帯域の必然性から複数のドライバーユニットを使用しますので、一つ一つのドライバーユニットの能率が完全にマッチし、融和してこそ精緻な演奏情景の再現が可能なのです。

ドライバーユニットは空気を振動させるので、キャビネット内部には大変な風圧がかかります。この風圧がネットワーク部品を振動させ、付帯音や静寂感の乏しさなどの原因になります。そこで、この高品位ネットワークを強靱なアルミケースにエポキシで密封して、ネットワーク、ドライバーの良さを100%引き出しているのです。メゾソプラノを聴いた場合、歌い手の口の動きのみならず胸から発せられるチェストーンも見事にブレンドし、歌唱力をいかに発揮するスピーカーであることから、その成果が現れています。

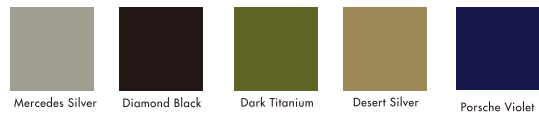
ウィルソンオーディオのスピーカーは演奏家の意図を克明に再現し、聴き手の目の前に演奏家のパフォーマンスをそのままお届けするスピーカーです。そのためには周波数、位相、SPEEDなど特性測定のみならず、私たち人間によるリスニングを重要視した妥協のないプロセスを経ての音楽表現、音質決定が最重要ポイントとなります。リスニングルームの多様性を考慮した試聴には、BYU大学の音楽教授陣、著名音楽演奏家たちも参加し、オーディオ評論家でもあったディビッド・ウィルソンの感性によって最終的に製品化が決まります。世界を代表するクラシック、ポピュラーなどのミュージシャン、音楽制作現場のプロフェッショナル、映画のサウンドエンジニア、そしてオーディオ機器の設計者らによって愛され、評価されている事実はこの理想を追求する制作姿勢によるものです。ウィルソンオーディオ製品を手に入れるということは、世界標準機を手に入れると同時に、厳しい評論家でありまた音楽愛好家であるディビッド・ウィルソンの感性の結晶を手に入れ、音楽をより深く慈しみ、楽しむことができるということなのです。



## WILSON AUDIO SOPHIA series-2 Specifications

■インピーダンス	4Ω/ノミナル(ミニマム/3Ω)
■ユニットサイズ	ウーファー:25cm ミッド:18cm ツイーター:2.5cm
■能率	89dB(2.83v,1m)
■ミニマムアンプパワー	7w/chP
■周波数特性	29 ~ 22.5 kHz (+0,-3dB)
■寸法	32cm (W) × 104cm (H) × 46cm (D)
■重量	約73kg

### Standard Colors (キャビネット/標準色/5色)



### Order Colors(キャビネット/特注色/11色)



### Grille Cloth (ネット標準色/1色)



### Order Grille Cloth (ネット特注色/3色)

